

地域居住学

担当者：中山 徹（生活環境学部・准教授）

開講時期：後期

週時間：月曜日 5・6時間

履修者数：80名

授業概要・目的

授業の概要

この授業では、地域で暮らすために何が必要なのかを考え、そのことを通じて地域を再評価する視点をも身につけます。最初に、子育てしやすいまち、高齢者が暮らしやすいまちの条件を学び、次に、まちづくりの方法として公共事業を取り上げ、公共事業の実態をふまえた上で、公共事業のあり方を考えます。さらに、地域の要素としての商店街を取り上げ、商店街の現状をふまえた上で、地域社会にとって商店街はどのような意味を持つのか、商店街活性化の方策を検討します。また、諸外国で取り組まれている環境再生を紹介しながら、地域にとっての環境を考えます。

各々の授業でできるだけ奈良を事例とし、いくつかの課題では奈良の今後について受講生に考えてもらいます。

授業の目的

1. 少子化社会にふさわしいまちづくりについて理解する。
2. 高齢化社会にふさわしいまちづくりについて理解する。
3. 公共事業の現状と課題について理解する。
4. 商店街の現状と課題について理解する。
5. 環境再生の現状について理解する。
6. 奈良を事例に上記の1～5を具体的に考え、地域を再評価する視点、地域で暮らすことの意味を自分なりに考える。

スケジュール

日程	内容
10月1日	少子化の実態とまちづくりの課題 その1
10月15日	少子化の実態とまちづくりの課題 その2
10月22日	少子化の実態とまちづくりの課題 その3
10月29日	少子化の実態とまちづくりの課題 その4
11月5日	高齢化の実態とまちづくりの課題 その1
11月12日	高齢化の実態とまちづくりの課題 その2
11月19日	公共事業の実態と課題 その1
11月26日	公共事業の実態と課題 その2
12月3日	公共事業の実態と課題 その3
12月10日	商店街の現状と地域活性化 その1
12月17日	商店街の現状と地域活性化 その2
1月7日	商店街の現状と地域活性化 その3
1月15日	地域環境の現状と環境の再生 その1
1月28日	地域環境の現状と環境の再生 その2
2月4日	地域環境の現状と環境の再生 その3

取組内容・成果

1．少子化の実態とまちづくりの課題

日本で進んでいる少子化の実態、少子化対策、諸外国の動向など。その上で、子育てしやすいまちづくりについて説明しました。奈良県は出生率が東京都に次いで全国で二番目に低い県です。その実態を概観し、考えられる理由等を解説しました。

2．高齢化の実態とまちづくりの課題

日本で進んでいる高齢化の実態、介護保険、諸外国の動向など。その上で、高齢者の住みやすいまちづくり、自宅で住み続けられるまちづくりについて説明しました。

3．公共事業の実態と課題

公共事業の実態を通じて、まちづくりのあり方について考えました。日本の公共事業の特徴、問題など。その上で、公共事業をどのように改善すべきかを説明しました。

4．商店街の現状と地域活性化

商店街の現状を通じて、地域のあり方について考えました。商店街の実態、商店街活性化の取り組みなど。

授業の内1回は、奈良もちいどのセンター街の魚谷和良氏をゲストスピーカーとして招き、センター街の概要及び活性化の取組を紹介していただき、その後、商店街を案内していただきました。

もう1回は、奈良県の稲葉水穂氏をゲストスピーカーとして招き、奈良県の商店街振興策、奈良県下及び全国で取り組んでいる商店街活性化事業について説明していただきました。

5．地域環境の現状と環境の再生

地域環境の実態を通じて、環境再生について考えました。さらに、日本及び諸外国で取り組まれている環境再生について説明しました。

今後に向けて

今年度は受講者が例年の2倍もいたため、現地見学会などが十分できませんでした。来年度は平年並みの受講者に戻るため、現地見学会などをもう少し増やしたいと思います。また、今年度はゲストスピーカーを2回お願いしましたが、来年度はもう少し増やしたいと思います。

また、来年度は生活観光現代GP科目がコア科目と関連科目に分かれ、地域居住学は関連科目となります。そのため、地域居住学15回の授業の中でどの程度、奈良に関する講義を設けるか改めて検討します。



「少子化とまちづくり」学生レポート



「高齢化とまちづくり」学生レポート